

活動テーマ

地域文化の発見と交流～皆野町金沢地区における学生による工夫と創造～

皆野町金沢地区 十文字学園女子大学

1 活動目的

皆野町金沢地区（埼玉県秩父郡）には、「つつじ祭り（5月5日）」や「カタクリ祭り（3月31日）」など地域のお祭りがある。毎年地域の方々が集まり、盛り上がりを見せている。より多くの地域の方々（他の地域に移った方も含めて）にその行事の内容を知ってもらうことで、来場者数が増え、さらに盛り上がりのあるお祭りになるのではないかと。地域の方々に皆野町金沢地区について、さらに知ってもらうと同時に、他の地域の方々にも皆野町金沢地区のことを知ってもらいたい。浦山 新井義虎さんに伺う「アジサイ園（皆野町金沢地区浦山）」や伝統的な「人形浄瑠璃（同出牛）」、「もろこし饅頭（たたらの里加工センター）」など、皆野町金沢地区には様々な魅力がある。それらを生かすようにし、皆野町金沢地区の、地域活性化のお手伝いをしたい。



浦山 新井義虎さんに伺う

2 活動地域の現状

皆野町は埼玉県秩父郡に位置している。人口は9,855人で、約1万人が暮らしている（県内で下から4番目の人数）。面積は、63.74㎏である（同16位）。50代の方が最も多い。子どもや若い世代の占める割合が少なく、地域の中で少子高齢化が進んでいる。金沢地区では、地元農作物を活用した六次産業化を目指しており、そのためのお手伝いが必要である。



干し芋づくり

3 活動内容

- ① 現地調査でふるさと支援隊の活動方針を検討する
- ② 皆野町役場で地域の方々と活動の打ち合わせを行う
- ③ 「たたらの里加工センター」を訪問し、実態を把握する
- ④ 「アジサイ園」を訪問し、実態を把握する
- ⑤ 「たたらの里加工センター」で商品づくりのお手伝いをする
- ⑥ 金沢地区の特産品であるサツマイモ「紅はるか」の収穫をする
- ⑦ 収穫した「紅はるか」を干し芋にする作業を学ぶ
- ⑧ 「アジサイ園」で土壌のpHを計測する



たたらの里加工センター



サツマイモ収穫

4 成果

全9回の現地調査を通して、金沢地区のことを学び、支援の具体的な案につなげる体験ができた。皆野町役場で行われた打ち合わせでは、休日にも関わらず皆野町金沢地区の方8名、皆野町みらい創造課の方2名、副町長にお越しいただき、皆野町金沢地区の現状、町おこしの実態、今後の支援要請など、「ふるさと支援隊」の今後の活動の中心となる意見交換ができた。この打ち合わせをもとに

- ① 干し芋パッケージ検討
- ② 花（アジサイ、かたくり）
- ③ 新商品開発（たたらの里加工センターとの連携）
- ④ 人形浄瑠璃（出牛）

の4つのグループで具体的な支援方策を検討した。今年度は、具体的な支援の実現に向け、実態把握をした。特に、金沢地区の特産であるサツマイモ「紅はるか」の生産過程では、学ぶところが多かった。「芋掘り」や「干し芋加工」など美味しい製品を作る上での苦労や工夫のさまざまを学んだ。新商品開発に向け、「たたらの里加工センター」への訪問、浦山アジサイの剪定、土壌酸度の計測なども行き、次年度に生かせる活動を行った。

5 課題

地元の方の意見を取り入れながら支援を進めていくことが、これからの課題である。特に、サツマイモ「紅はるか」の干し芋パッケージは、デザインは地元の方のオリジナルである。元のデザインの配色だけを変える方向で進めているが、最終的には地元の方の声を大切にしながらも、あらたなデザインを提案、実現していくことが課題である。他にも、新商品の開発やアジサイ園のアジサイについても地元の方の声を大切にしながらも、よりよい方向へと改善するための提案をしたい。



干し芋の袋詰め

6 次年度以降の計画

次年度以降は、4つの支援内容をより具体的に進めていきたい。

- ① サツマイモ「紅はるか」干し芋パッケージ作成については、まずはラベルの配色のみを変えたデザインの提案、また、全く新しいデザインの提案もしていきたい。
- ② アジサイ園（浦山）の土壌の分布図を完成させ、花の色の分布を考えていきたい。また、「かたくりまつり（3月31日）」への参加、支援をしていきたいと。両方において、情報の発信やチラシづくりを行っていきたい。
- ③ 新商品の提案、実現を行なっていく方向である。
- ④ 「つつじ祭り（5月5日）」でのお手伝いや情報の発信をしていきたい。そして、今年度と同様に、金沢地区のことを知る努力を続けていきたい。



blog